



ヴァネッサ・ファークソン／著
枝廣淳子・長澤あかね／訳

おしゃれとエコって、 両立するの？

四六版 397頁 定価 ¥1,600 (税別)

発行所：(株) 講談社

〒103-0015 東京都文京区音羽2丁目12-21

TEL 03-5395-3808

ISBN 978-4-06-215853-4 2010年発行

[評者] 福岡大学大学院工学研究科2年生 こはらい みほ 小拂美穂

この本は、一人の自立したキャリアウーマンが一日ひとつ、エコを実践して、それをブログで発信することにより、世界中の人々に環境の大切さを発信しよう！というストーリーです。毎日行いうつひとつのエコ活動が、著者のプライベート(仕事・恋愛等)と密接に関わっているため、一人の女性の実生活の中にエコ活動が自然に馴染んでいるように感じました。時にはアクティブすぎると感じるエコ活動もありましたが、それが逆にスパイスとなり、ストーリーにぐんぐんと引き込まれていきました。また、著者は生粋の「環境保護論者」というわけではなく、普通のキャリアウーマンであるため、読み手も等身大の目線でエコについて考えることができる本だと感じました。

私はこれまでに、廃棄物処理・処分、地球温暖化、土壌汚染、エネルギー問題等、多くの環境問題について大学院で学びましたが、この本に書かれている様な「おしゃれとエコ」については考えたこともありませんでした。なぜなら、私の中で「おしゃれ」と「エコ≒節約・節制」は相対するもので、比較する対象ではないと考えていたからです。しかし、この

本を読み、エコは少しの「きっかけ」と、「継続する意思」さえあれば誰でも実践でき、かつそれは楽しみながら日常に取り入れることができるということを知りました。

また、意識しなければ見過ごしてしまうような簡単なエコ活動がたくさんあることに気づくことができました。

私は、今の生活の中でエコ活動ができているとは決して言えません。しかし、そんな私でも、意識して一日ひとつエコを実践することは、難しいことではないとこの本を読んで感じ、できることからエコ活動をしようという気持ちになれました。特に、この本に記載されているエコ活動は、主婦層をターゲットにした節約術と異なり、20代～30代の働く独身女性で、エコについて考えてはいるものの、なかなか実践には移せないでいる年齢層のライフスタイルに合っています。そういった意味で、エコを初めて実践する人の輪を広げるのに、一翼を担う素敵な本だと思います。何かエコ活動をしたいけれど、どうすればいいか悩んでいる女性に、是非お勧めしたい一冊です。